

「ピタックリーン



モバイル寄席」企画案

2007年8月



(有) エス・ピー・エス

〒146-0082 東京都大田区池上7-31-2-301

TEL 03-5741-9808 FAX 03-5741-9812

# 「ピタックリーン・モバイル寄席」企画フレーム案

- 東京や大阪の寄席や地方の公演など、来場者にピタックリーンを配布または販売
- 全国の大学のサークル(落研)にも配布or販売
- できれば「日本の古典芸能の普及」として、ナショナルスポンサーについてもらう(例: キッコーマン・味の素・トヨタ・NTT・東芝・東京電力…)
- 他の大衆イベントや若者イベントの時も配布・販売(例: さだまさしコンサート・相撲・歌舞伎…)

## 1. ピタックリーンは優れ者

- ① 「ピタックリーン・モバイル寄席」を広く配布→団塊世代から若者まで…
- ② ピタックリーンのQRコードを撮影すると、すぐ携帯サイト「モバイル寄席」につながる
- ③ わざわざアドレスを打ち込まなくても良い。おじさんもおばさんもすぐ「モバイル達人」?
- ④ 若者も古典落語・江戸文化のイキ(粋)で奥深い世界を知る

21世紀に入り、世の中はやや落ち着いてきた。  
 今、クールジャパンやWASHOKU文化が世界に広まりつつある。日本の高度で繊細な技術や文化が、世界的に評価され、受け入れられつつある。  
 「古典落語」も歌舞伎や浮世絵と同様、江戸の粋で高質な庶民文化・日本文化である。

## 2. 「ピタックリーン・モバイル寄席」

- ① サイトへ入るとそこは「モバイル寄席」の会場…
  - ② 今月の古典落語10断? がかかっている。その他の寄席で売られている色々なグッズが販売され、古典落語の解説コーナーもある
  - ③ モバイラー? は自分の聞きたい断をクリック、(一断いくらで課金される)音声と映像で古典落語を楽しめる(解説コーナーもある)
  - ④ リアル感を出す為、会場収録したものが良い
- <課題> 課金一断いくら? 通話料・映像料は?  
 →若者はバケット定額制で、中高年にもバケット定額制をすすめる

## 3. 全国の寄席の告知と開拓

- ① 今月は何処で何をやっているかを告知(東京・大阪の寄席、全国での公演…)
  - ② 「モバイル寄席」で古典落語を楽しんでもらうと共に、実際に寄席や公演で、生の落語を聞いてもらう
  - ③ 落語協会により「出前寄席」の告知をし、全国の町や村で公演を増やし、落語文化を広めていく
- それぞれの町や村の名称をつけ、〇〇寄席とする 例:北軽井沢の場合は「北軽寄席」など
  - 客数はあまりこだわらない、50人でも100人でも良い
  - 若手実力落語家に、公演の機会をどんどん提供していく

## 4. 「モバイル寄席ライブラリー」

- ① 毎月10人・10断の古典落語は継続され、サイトにライブラリーとして集積される例:年間120人・120断の古典落語が集積される(落語家は重複しても良い)
- ② モバイラーはいつでもクリックし話を聞ける(有料・課金、通話料はバケット定額制)
- ③ 落語協会選定により、特選古典落語のCD、DVDを発売する。古典落語ガイドブックも発刊する(既にある?)

## 5. 顧客サービスの充実

- ① 定期落語クリッカー? に寄席の招待券を送る
- ② 落語グッズの送付や販売(落語手ぬぐい・落語カレンダー・有名落語家フィギュア…)
- ③ 顧客への表彰～資格制度
  - 古典落語を10回以上クリックした人に〇〇の呼称、100回以上クリックした人は名誉〇〇のメダルと表彰状
  - 古典落語～江戸庶民文化の研修～テストにより、落語マスター資格(寄席入場料無料等、資格を活かす場所は?)

## 6. 「笑点」との関係

日本テレビ笑点は、完全なビジネスシステムができていようなので、敢えてふれないようにする。  
 「モバイル寄席」はマスコミマーケティングではなく、「ミニコミ・草の根マーケティング」として位置付け、全国に広く深く浸透させる。